

伝統の技を受け継ぐ職人が 心を込めて本物を造りあげます。

塗師 山本洋司(代表)
昭和33年生まれ
昭和52年／美川仏壇製造元、
勝見仏壇工房に入社
昭和58年／技能奨励賞受賞
平成元年／製作現場を任される
平成8年／寺井町に工房兼店舗、
「佛壇の山本」設立
平成15年／匠俱楽部設立 主宰
平成16年／六工比照展 開催

仏壇は木地と塗りが命。木を知り尽くした木地師が木材を選びぬき、一本ずつ削り出した竹釘を使い、百分の一ミリ単位でホゾを組みます。それは、塗師として「塗るのがもったいない」とまで言わしめるほどの繊細な技。機械にはできない、完璧なまでの人の技術です。

美川仏壇の塗りには耐水性に優れた「鋸地」の技法が使われています。これは、この地方が水害の多い手取川流域のため、耐水性に優れた仏壇が要求されたからでした。鋸地を標準仕様としているのは、全国でも稀。私たちが大切にするのは、豪華な装飾よりも寸分違わぬ木地の正確さ、堅牢な塗りと洗練された美しさです。そして、この大きさでありますながら、本堅地や蒔地といった輪島塗など高級漆器にみられる技法も用いており、小さな漆器をも上回る丁寧な造りを施していることに誇りを感じています。

「永代に伝わる本物をつくりたい」

私たちはその一心で技を磨き、手間を惜しまず、手造りにこだわり続けます。

天然素材に生命を吹き込む伝統の技 手仕事ならではの繊細な温もり

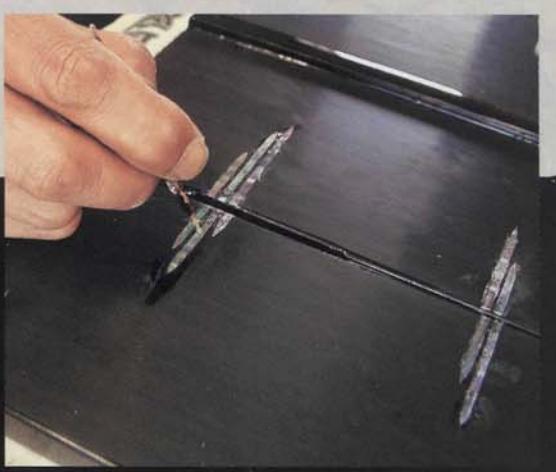
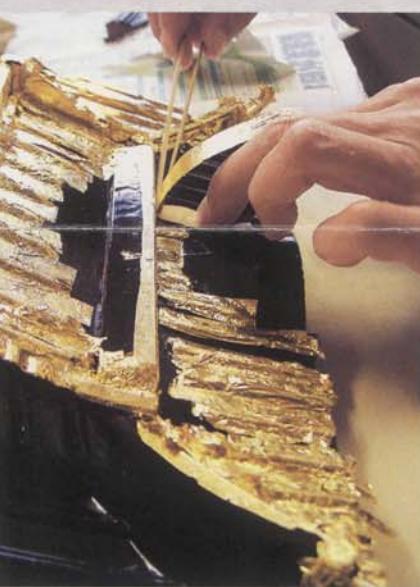
天然素材を使うこだわり。

使う人にも環境にも優しい、それが美川仏壇。

私たちが造る仏壇は、総天然素材でできています。

天然木と天然漆。徹底してこれらにこだわるのは、昔ながらの職人技を伝えること、耐用年数を延ばすことはもちろん、安全性や環境に配慮していることのもひとつ理由です。

化学系材料を使わない美川仏壇は、ハウスシックとも無縁。また、木材は主に痩せや割れが少ない樹齢五十年のイチヨウの雌株のほか、本クサマキやヒメコマツなどを使用しています。丹念な仕事が施された仏壇は、樹齢以上の年数を生きることができます。仏壇の寿命が尽きるまでに、また新たな森が育つのです。



佛壇の山本はお約束します。

- 一、職人自らがご希望をお伺いし、入念に打ち合わせいたします。
- 一、素地選びから各行程まで一切の妥協をせず、誠心誠意真心込めて製作いたします。
- 一、納品時には、作業写真、作業内容、材料を明記した報告書を提出します。
- 一、品質管理には万全の体制で行い、10年の保証※(無料点検・掃除)をいたします。
- 一、いつでも製作工房の見学が可能で、作業の確認ができます。

※自社製品に限ります。

美川仏壇 最上級品

南無阿彌陀佛







天門窟 最上級品









美川佛壇 百五代 二重側

木地師 永島 廣明

下地師 山本 洋司

空師 山本 洋司

藤塙師 麗山 隆夫

猪形師 北川 義明

木地形師 各川 彰

金真師 明正 紀栄宣

謹製 佛壇 の 山本

